

設問	自己評価	学校関係者評価
<p>&lt;教育理念・目的・育成人材像&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理念、目的、育成人材像は定められているか。</li> <li>・育成人材は業界等の人材ニーズに適合しているか。</li> <li>・理念の達成に向け、特色ある教育活動に取り組んでいるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育理念、教育方針、育成人材像は定めている。</li> <li>・業界ニーズに適合している。</li> <li>・当校は、ヘアデザイナーコースとビューティデザイナーコースがあり、両コースとも美容師国家資格の取得は必須となっている。</li> <li>・当校はコーセーを母体としているので、教えてくれる先生、使っている教材、自由に使えるコスメコーナーなど他校では真似できない特色がある。</li> <li>・新しい時代を切り開く美容価値向上に繋がる取り組みが今後の課題となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切に行われている。</li> <li>・業界の人材ニーズに適合している。</li> <li>・美容サロンでは、技術や人間性も含めて総合力が必要。総合力を身に着けた人材を今後も育成して欲しい。</li> <li>・どういう人材を求めるか。 ⇒将来自分の店を持ちたいなど目標がある人、夢を持ち、接客においては、笑顔で接する人材。</li> <li>・客商売は、自信を持っていないと客から信頼されない。またお客様との人間関係も重要。その関係から他の客を紹介してもらったり、仕事の幅が広がる。</li> <li>・全コースで全員に美容師国家資格を取らせるのは無理があるのではないかと。選択制にしてはどうか。</li> <li>・誰もが授業を受けたいような名物先生、授業内容が退屈させない話術に長けた先生、カリスマ美容師など他の学校に引けを取らない教師がいて欲しい。その人の存在が当校のメリットになる。</li> <li>・ヘアメイクを撮影する授業を行い、インスタやフェイスブックにアップし、デザイン力や技術力を公開する。こういった事を行うことでヘアコース志望者を増やせるのではないかと。また男子による表現の機会を増やすことが男子入学者アップに繋がる。</li> </ul>
<p>&lt;学校運営&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理念に沿った運営方針を定めているか。</li> <li>・理念を達成するための事業計画を定めているか。</li> <li>・意思決定システムを整備しているか。</li> <li>・情報システム化に仕組み、業務の効率化を図っているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育方針を定めている。</li> <li>・毎年の理事・評議員会にて事業計画を審議している。</li> <li>・毎週一回職制会議、月一回教職員会議を実施している。</li> <li>・セキュリティ強化のため、情報システムをコーセーの傘下においた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切に行われている。</li> <li>・適切に行われている。</li> <li>・適切に行われている。</li> <li>・適切に行われている。</li> </ul>

設問	自己評価	学校関係者評価
<p>&lt;教育活動&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理念に沿った教育課程の編成方法、実施方針を定めているか。</li> <li>・学科毎に教育達成レベルを明確にしているか。</li> <li>・教育目的、目標に沿った教育課程を編成しているか。</li> <li>・教育課程について外部の意見を反映しているか。</li> <li>・成績評価、終了認定基準を明確化し、適切に運用しているか。</li> <li>・教員の質的向上への取り組みを行っているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年別、クラス別に年度目標を掲げ、目標達成に向けて努力している。</li> <li>・学科毎に担当講師が指導目標を掲げ、指導している。</li> <li>・教務課目標を設定し、その方策に則った教育課程を編成している。</li> <li>・昨年度より、新たに「規律ある学校づくりをめざし、マナーやルールを守る」ことを重点課題とした。 3ポリシー（・アドミッションポリシー、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー）を再共有する。</li> <li>・理事や評議員の意見を聴き、教育に参考にしている。</li> <li>・美容室の魅力を如何に訴求するか課題にする。</li> <li>・スチューデントマニュアルに成績評価、単位認定の流れを明確化し運用している。</li> <li>・教員の目標管理は行っているが、評価制度についてはまだ実施出来ていない。教員の意識向上に繋がると思われるので今後の課題である。外部研修は他校教員との交流をすることが大きな刺激、モチベーションアップに</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切に行われている。</li> <li>・適切に行われている。</li> <li>・適切に行われている。</li> </ul> <p>意見は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワインディングが上手い人はカットも出来る。ワインディングを長時間続けて行うのではなく、カットを織り交ぜて行ったほうが良いのでは。</li> <li>・美容の仕事は作業が大変だと思われるが、具体的に何を行うのかをちゃんと説明する。</li> <li>・美容室の魅力を伝えきれていない。</li> <li>・学生の不満に向き合う事が、先生の成長に繋がる。</li> <li>・学生に声をかけるという事は、その人の存在価値を認めているという事。常日ごろから声をかけてほしい。</li> <li>・学生の成長とは、担任の力でどれだけ伸びたかを評価すること。</li> <li>・学生のモチベーションをいかに上げていくかも担任の役割、責任である。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適切に運用されている。</li> <li>・目標管理や評価はどのように行っているのか。相互評価（お互いに評価し合う）が効果的。お互いの弱点が客観的に出てくる。</li> <li>・教員の教育が重要。教員を教育する外部の専門家を</li> </ul>

設問	自己評価	学校関係者評価
<p>&lt;学修成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職率の向上が図れているか。</li> <li>・資格、免許取得率の向上が図られているか。</li> <li>・卒業生の社会的評価を把握しているか。</li> </ul>	<p>繋がる。参加はしているが、まだ回数が少なく、もっと多くの教職員が参加出来る環境を作りたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーセー本社や日本販社との情報共有の場を設定し、より実践的な教育に繋がる要素を強化する。 各事業部・美容開発部・商品デザイン部・人事部 etc. * 研究所・美容開発部クリエイションユニットは選択授業有</li> <li>・就職率は10年以上前から100%を維持していたが一昨年は99%であった。昨年は100%となる。</li> <li>・コロナウィルス蔓延のため、特に化粧品関連の企業が採用人数を縮小し、ビューティコースの就職が非常に厳しくなっている。</li> <li>・2023年春 美容師国家試験合格率92.8% (全国88.5%) 実技98.6% (不合格者2名) ・学科94.2% (不合格者8名)</li> <li>・全員美容師資格を取らせるということが当校の特長の一つであるが、ここ5年間は100%を達成していない。教員は大変な努力をして目標達成を目指しているが、モチベーションが今一つ上がらない学生がいる。</li> <li>・都度、サロンや会社に卒業生の評価を訊ねている。</li> </ul>	<p>呼べばいい刺激になるのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・著名な美容師顧問、特別アドバイザーなど教員育成のための存在感のある人が欲しい。</li> <li>・リーダーシップ研修、マネージメント研修など積極的に受講することにより、基本的知識や実践的体験を行う。</li> <li>・当校の教員は素晴らしい人が揃っている。</li> <li>・理事や評議員ともっと交流を図れば、よい刺激となり得る物も多いのではないか。</li> <li>・美容デザインの世界は3つの大きなカテゴリーに分かれていて、①カラーの世界②フォルムの世界③質感の世界教員がこの3つのうち一つ自分の強みを作ることで自信がつくことと、より高度な授業を行う事が出来る。</li> <li>・就職率は専門学校にとって、注目される非常に重要な項目である。本人の希望に沿って、教職員が適切なアドバイスをして、全員就職を確立して欲しい。</li> <li>・コーセーグループの採用可能人数を事前に把握しその上でヘアコースの入学者の人数に反映させる。就職率を上げるためにも工夫が必要ではないか。</li> <li>・就職率とともに国家試験合格率は美容学校の評価にダイレクトに繋がる。学生の意識付けが重要だと思うが、教員の熱意が学生に影響する。教員は学生に「絶対合格する」というポジティブな意識を植え付けるために熱意を持って対応すること。</li> <li>・同窓会を利用して、横の繋がりを作り、声を掛け合い情報を収集する。</li> <li>・近年入社した卒業生の動向を、もっと積極的に聴いて</li> </ul>

設問	自己評価	学校関係者評価
<p>&lt;教育環境&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育上の必要性に対応した施設、設備、教育用具を整備しているか。</li> <li>・学外研修、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか。</li> <li>・学校における安全体制を整備し、適切に運用しているか。</li> </ul> <p>&lt;学生の募集と受け入れ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生募集活動を適切、効果的におこなっているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シャンプー室、メイク室、模擬美容室、ウィッグ棚 学生ラウンジなど</li> <li>・「教育のデジタル化（文科省が進めるギガスクール構想）」への対応で一人一台の端末や学校ネットワーク環境の整備を計画的に進めなければならない。</li> <li>・学科、実技コンテンツ、教科書、教材等学習ツールのデジタル化の整備を進める。</li> <li>・教育ソフトの活用を推進するインフラの整備</li> <li>・インターンシップは1年生の後期にサロン、コーセー化粧品売り場で体験実習を行っている。</li> <li>・海外研修は2年生の12月に実施しているが、ここ5年間はテロやコロナの影響で未実施。</li> <li>・毎年4月に消防訓練を消防署立ち合いの下で実施している。</li> <li>・非常用キットを人数分用意している。</li> <li>・学校のセキュリティ（夜間、休日）はSECOMで行っている。</li> <li>・日常の危険箇所確認など定期的に校内外の点検を行っている。</li> <li>・オープンキャンパス年間50～60回実施。高校訪問を年2回、進路指導教諭との面談を行っている。（高校訪問は2年間コロナで未実施だったが2023年度は50校以上の訪問予定）</li> <li>・男子の入学者が極端に少なく、男女のバランスが悪く学級の雰囲気的にも影響がある。（多様な気づき）</li> <li>・ヘアデザイナーコースの人数を増やしたい。</li> </ul>	<p>欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適切に対応している。</li> <li>・海外研修は中止する理由を明確にし、暫く休みにしてはどうか。</li> <li>・インターンシップは重要、実際の職場での体験はサロンにとっても学生にとっても大切である。引き続き実施して欲しい。</li> <li>・適切に対応出来ている。</li> <li>・適切に対応出来ている。ここ数年は受験者が年々増加しており、教職員が一丸となって募集活動を効果的に行っている事が分かる。</li> <li>・ヘアコースとビューティコースの人数比率を5：5にしてバランスを取った方が良いのでは。</li> <li>・ヘアコース人数を増やすには、その時代の社会現象（テレビドラマなど）が影響するが、現状のコロナ禍では就職のことを考えてある程度増えるのではないかと。</li> </ul>

設問	自己評価	学校関係者評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか。</li> <li>・入学辞退者に対し授業料等について、適正な取り扱いを行っているか。</li> </ul> <p>&lt;財務&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予算、および計画に基づき適正に執行管理を行っているか。</li> <li>・私立学校法及び寄附行為に基づき適正に監査を実施しているか。</li> </ul> <p>&lt;法令等の遵守&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法令、専修学校設置基準を遵守し、適正な学校運営を行っているか。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか。</li> <li>・学校関係者評価の実施体制を整備し、評価を行っているか。</li> </ul> <p>&lt;社会貢献・地域貢献&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の教育資源を利用した社会貢献、地域貢献を行っているか。</li> <li>・学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当校が求める学生像を明確にしている。</li> <li>・授業料を支払い、入学前に辞退した者には授業料は返還している。</li> <li>・年度予算に則り、厳格に執行管理を行っている。</li> <li>・年度終了後、速やかに監事による会計監査、業務監査を行っている。</li> <li>・法令、専修学校事務処理手引きなどに則り、適正に行っている。</li> <li>・学生、教職員に対しコンプライアンス研修を行っている。（コーセー法務部協力）</li> <li>・自己評価の実施に関し学則や規程の整備はされているが、見直しや追加項目の整理などは不十分である。</li> <li>・自己評価は年2回行っている。</li> <li>・今年度から体制を整備し、評価を行っている。</li> <li>・毎年行っている学園祭などで、地域の人達との交流を図りたい。</li> <li>・学生のボランティア活動はまだ行っていないが、今後</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切に運用出来ている。</li> <li>・適切な取り扱いを行っている。</li> <li>・適切に管理を行っている。</li> <li>・適切に実施されている。</li> <li>・適切に運営は行われている。 意見はつぎのとおり。</li> <li>・コンプライアンス研修は継続して行うことが必要。</li> <li>・企業ではコンプライアンスの窓口があるが、学校にも必要ではないか。（セクハラ、パワハラ）</li> <li>・危機管理の一環としてクライシスマネジメント研修があるので参加してはどうか。</li> <li>・自己評価体制を確立し、問題点を共有化すべき。</li> <li>・今後定期的に行う事。</li> <li>・社会貢献、地域貢献はどの学校においても、今後積極的に取り組むべき課題である。</li> <li>・具体的にどういう貢献が出来るのか教職員全員で意見を出し合ってみてはどうか。</li> <li>・前項に同じ。</li> </ul>

設問	自己評価	学校関係者評価
支援を行っているか。	可能であれば、老人ホームでのハンドマッサージなど美容実習活動を行っていきたい。	